

県議会議員

あらい、絹世の「磯っ子」レポート

夢と希望のある神奈川を



<http://www.araikinuyo.jp>

薬剤師慰労金や消費へのポイント還元施策も コロナ感染症対策柱の9月補正予算案を審議

開会中の神奈川県議会定例会に9月7日、県から一般会計の9月補正予算案が提出され、審議のうえ10月13日の本会議で採決される予定です。同補正予算案は新型コロナウイルス感染症対策を柱とするもので総額1847億8700万円（このうち財源は国庫支出金が1839億円）。同感染症対策にかかわる補正予算としては4月の538億円、5月の125億円、6月の1492億円に続くもので、これまで最大規模のものとなります。国の施策に沿い、県内の医療機関などを支援して医療提供体制を維持するための事業、経済回復に向けて県内の消費喚起を促進し事業者を支援するための事業、中小企業・小規模企業再起支援事業費補助などを柱としたものです。この中には薬局薬剤師への慰労金の支給、消費意欲を喚起するためキャッシュレス決済時にポイント還元するなどの新たな事業も盛り込まれています。

同感染症対策（1824億円）として計上されている額のうち医療関連では①（ICU病床等）病床確保料補助など診療・検査体制の維持に1081億円②医療機関等が行う設備整備等に対する補助に159億円③軽度・無症状患者宿泊療養施設の借り上げ等に61億円（契約更改によるアパホテル横浜関内など5施設で約1600室を確保）④患者受け入れ医療機関（87カ所）への病床確保協力事業費に30億円⑤市町村が行う同感染症対策に対する補助に25億円一など。③の事業として自宅療養者のため1日3食の配食サービスも始められます。また医療の担い手支援として従来は患者と接する医療従事者や職員に慰労金が支給されてきましたが、今回の補正予算案には保険薬局の薬剤師1人当たり3万円の慰労金を支給する県独自の施策も盛り込まれ、5億4395万円が計上されています。

今回の同感染症対策では医療体制の維持とともに沈滞する経済の回復への支援策も重要で、補正予算案には198億円が盛り込まれています。このなかで県では独自の施策として県内の事業者を支援するための消費喚起対策に取り組み、予算額は75億円。消費者がキャッシュレス決済を行う際、決済額の20%を還元するもので、1人当たり4000円相当分を上限に何度でも利用でき、年内には実施の見通しとなっています。

また、65歳以上や60～64歳で重篤な基礎疾患がある県民のインフルエンザ予防接種の自己負担を無料とするため、接種事業主体である市町村の財政支援をする補正予算37億19万円を組み、9月24日に可決されました。

これが言いたい!

9月補正予算も前回同様新型コロナウイルス感染症対策費が主で、補正予算としてはこれまでの最大規模となります。今回は経済対策として198億円の予算が組まれました。感染拡大防止対策やデリバリーやインターネット販売等に対して補助する「中小企業・小規模企業再起支援事業費補助」は県内企業の関心が高く、6月補正の10億円から今回71億円を計上しています。今後も申請状況を鑑みながら事業の継続も検討していくべきです。また、商店街でのキャッシュレス決済は進んでいません。キャッシュレス決済時に決済額の20%を還元する取組は、商店街など小規模企業を支援出来る様手続きの簡略化など行っていく必要があります。



10月6日(火)委員長を務める予算委員会が開催されます。委員会については、10月19日(月)から21日(水)の18時30分から20時35分、TVKで放送されます。

磯子あれ? これ? 金剛院 (磯子区岡村)

金剛院の開創は、資料がないためいつ頃かは不明ですが、武蔵新編風土記には、開山は元禄9(1696)年に長誉(ちょうほ)上人が中興したとあります。

元弘3(1333)年鎌倉幕府が倒れ、岡村まで落ち延びた鎌倉武士が自刃し、これらの人のために、後年になって跡地に墓地として五輪の塔が建立されたと伝えられています。今は、当院墓地内に、大正7(1918)年建立の「鎌倉方戦死の霊」と刻まれた墓石があります。

同年磯子七福神の制によって「大黒天」を祀りました。大黒天は、インドでは食物を司る神とされますが、日本に伝わったときには「大国主命」とされました。

平成元(1989)年に本尊「夢薬師」と脇仏の日光菩薩・月光菩薩・十二神将を建立、平成15(2003)年に日本画家の大山鎮(しずめ)氏により、本堂に花の絵の天井画が奉納されました。

毎年11月3日に「大黒天祭」(護摩祈願・餅なげ・抽選会・屋台)が開催されています。今年も開催の予定ですが、念のためご確認ください。

参考:磯子の史話、住職のはなし



県民限定で県内旅行の割引を行うキャンペーン 「地元かながわ再発見(かながわ県民割)」が始まります!

(1) キャンペーン期間

販売期間：令和2年10月8日(木曜日)から令和3年2月28日(日曜日)まで

(2) 割引額など

	宿泊(1人あたり1泊)	日帰り旅行(1人1回当たり)
横浜、鎌倉、箱根	最大5,000円を割引	最大3,000円を割引
横浜、鎌倉、箱根以外	最大7,500円を割引	最大5,000円を割引

(3) 対象者

神奈川県民

(4) 利用方法

キャンペーンの対象となる旅行商品を取り扱う事業者のホームページ、販売窓口等から購入できます。なお、対象の事業者(旅行会社・宿泊事業者・鉄道・船舶業者など)については、「地元かながわ再発見(かながわ県民割)」特設サイトで御確認ください。

※宿泊は、令和3年3月1日(月曜日)チェックアウト分までが対象です。

※キャンペーン期間内であっても、予算がなくなり次第終了になります。

※GoToトラベルと併用可能(一部商品除く)

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株)/株メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生

- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 予算委員会委員長
- かながわ自民党女性議員局長

